

令和5年度 第二種奨学金（短期留学）留学届

登録番号	氏名

(提出日)

(西暦) 年 月 日

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金（短期留学）奨学生採用候補者の決定を受け、このたび下記のとおり留学します。申込時に提出した「確認書兼個人情報取扱いに関する同意書」にしたがい、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の記載事項については正しく記入することを誓約します。

◆あなたが申込時に選択した保証制度は、 です。

【重要】保証制度は、「第二種奨学金（短期留学）留学届」提出後は変更できませんので、ご注意ください。

- ・人的保証制度選択者は、裏面の「**■人的保証制度選択者記入項目**」を記入してください。
- ・機関保証制度選択者は、裏面の「**■機関保証制度選択者記入項目**」を記入してください。
- ・「留学届」に記載された提出日において、本人が未成年者（18歳未満）の場合には、裏面の「**■親権者（又は未成年後見人）**」の記入が必要です。（どちらの保証制度を選択した場合も未成年者は記入が必要です。）

■ **本人記入項目** (注意) 必ず本人が黒か青のボールペン（字が消せるボールペン不可）で記入してください。

留学先学校	学 校 名	日本語名	国・地域名			
		英語名	プログラム・研究科・学部・学科名			
本人	フリガナ	氏名	生年月日	(西暦) 年 月 日 (歳)	性別	男・女
			留学期間	(西暦) 年 月 ~ 年 月 (※1)		
		住民票に記載の住所	電話番号(自宅) ()			
		〒 _____	携帯電話番号 ()			
			(該当する場合 <input checked="" type="checkbox"/> を記入) <input type="checkbox"/> 電話番号(自宅)無し <input type="checkbox"/> 携帯電話番号無し			
	国内在籍学校名	国内在籍学校	学籍番号			
	貸与中の奨学金があれば、その奨学生番号	第一種奨学金	— —	第二種奨学金	— —	

裏面も必ず記入してください

□ **国内在籍学校担当者記入項目** 【留学（奨学金貸与）開始月の前月10日までに提出願います（必着）。】

留学開始月 (※1)	留学終了月 (※1)	学籍上の身分 (該当に○)
(西暦) 年 月	(西暦) 年 月	休学 ・ 留学 ・ 在学

※1 本人記入項目の「留学期間」及び国内在籍学校担当者記入項目の「留学開始月」及び「留学終了月」には、留学先学校発行の「受入許可書」にもとづき、留学を開始する月（プログラム又は授業の開始月）から留学を終了する月（プログラム又は授業の終了月）までを記入してください。（学籍上の身分における留学期間や渡航日・帰国日ではありません。）ただし、1年を超える留学期間の場合は、奨学金貸与対象となるプログラム又は授業の開始月から1年間(12か月)の期間を記入してください（ダブルディグリーは除く）。

※2 国内で奨学金を受けている場合に必要の提出書類については、「採用候補者のしおり」5ページを確認してください。

上記記載の通り相違ないことを証明します。

(学校の証明) 年 月 日

学校名

学校長

(関係部課長)

担当者名 ()	
TEL : — —	
FAX : — —	
学 校 番 号	区 分

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

■ 人的保証制度選択者記入項目（採用候補者本人記入）

（注意）記入内容が返還誓約書に印字されますので、記入もれのないよう正確に楷書体で記入してください。

本留学届を提出するにあたり、下記のとおり連帯保証人及び保証人を選任します。
また、奨学金の貸与を開始するときには、連帯保証人及び保証人が必要な証明書類を添付し「返還誓約書」を提出することを確認しました。

連帯保証人及び保証人 選任欄	フリガナ	続柄	生年月日（西暦）	電話番号(自宅)
	氏名		年 月 日	()
	住所 〒 _____			携帯電話番号 ()
	勤務先名	(該当する場合☑を記入) <input type="checkbox"/> 無職 ※専業主婦(夫)を含む。		勤務先電話番号 ()
保証人	フリガナ	続柄	生年月日（西暦）	電話番号(自宅)
	氏名		年 月 日	()
	住所 〒 _____			携帯電話番号 ()
	勤務先名	(該当する場合☑を記入) <input type="checkbox"/> 無職 ※専業主婦(夫)を含む。		勤務先電話番号 ()

■ 機関保証制度選択者記入項目（採用候補者本人記入）

（注意）記入内容が返還誓約書に印字されますので、記入もれのないよう正確に楷書体で記入してください。

本留学届を提出するにあたり、下記のとおり連絡先を届けます。

本人 以外の 連絡者	フリガナ	続柄	生年月日（西暦）	電話番号(自宅)
	氏名		年 月 日	()
	住所 〒 _____			携帯電話番号 ()
				(該当する場合☑を記入) <input type="checkbox"/> 電話番号(自宅)無し <input type="checkbox"/> 携帯電話番号無し

■ 親権者（又は未成年後見人）（採用候補者本人記入）

（注意）本人が未成年（18歳未満）の場合は、いずれの保証制度の場合も記入が必要です。人的保証選択の未成年者の場合、親権者（又は未成年後見人）は連帯保証人と同一である必要があります。選択した保証制度にかかわらず親権者（又は後見人）が2名いる場合（父母）は、両者について記入してください。

親権者 (父) 又は (後見人)	フリガナ	電話番号(自宅)
	氏名	()
	住所 〒 _____	携帯電話番号 ()
		(該当する場合☑を記入) <input type="checkbox"/> 電話番号(自宅)無し <input type="checkbox"/> 携帯電話番号無し
親権者 (母)	フリガナ	電話番号(自宅)
	氏名	()
	住所 〒 _____	携帯電話番号 ()
		(該当する場合☑を記入) <input type="checkbox"/> 電話番号(自宅)無し <input type="checkbox"/> 携帯電話番号無し

- 留学先学校発行の「受入許可書（コピー可、日本語訳添付）」を添付してください。受入許可書には、次の事項について記載されているか確認してください。
○在籍する学校名 ○在籍するプログラム（学部・学科）○受入許可書の発行日 ○受入期間（年 月～年 月）
※受入期間が学期等で記載されていて、年月の記載がない場合、学校のアデミックカレンダーを添付してください。
- 申込時に選択した保証制度の変更を希望する場合は学校担当者へ申し出て、「令和5年度第二種奨学金（短期留学）保証制度変更願（届）」を提出してください。なお、「留学届」裏面は、変更後の保証制度による項目を記入してください。
- 留学時特別増額貸与奨学金を希望する人で、採用候補者決定通知に【国の教育ローンの申込必要】と記載のある人は、①「留学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」 ②「融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文」のコピーを添付してください。